

更年期障害

兵庫県立丹波医療センター

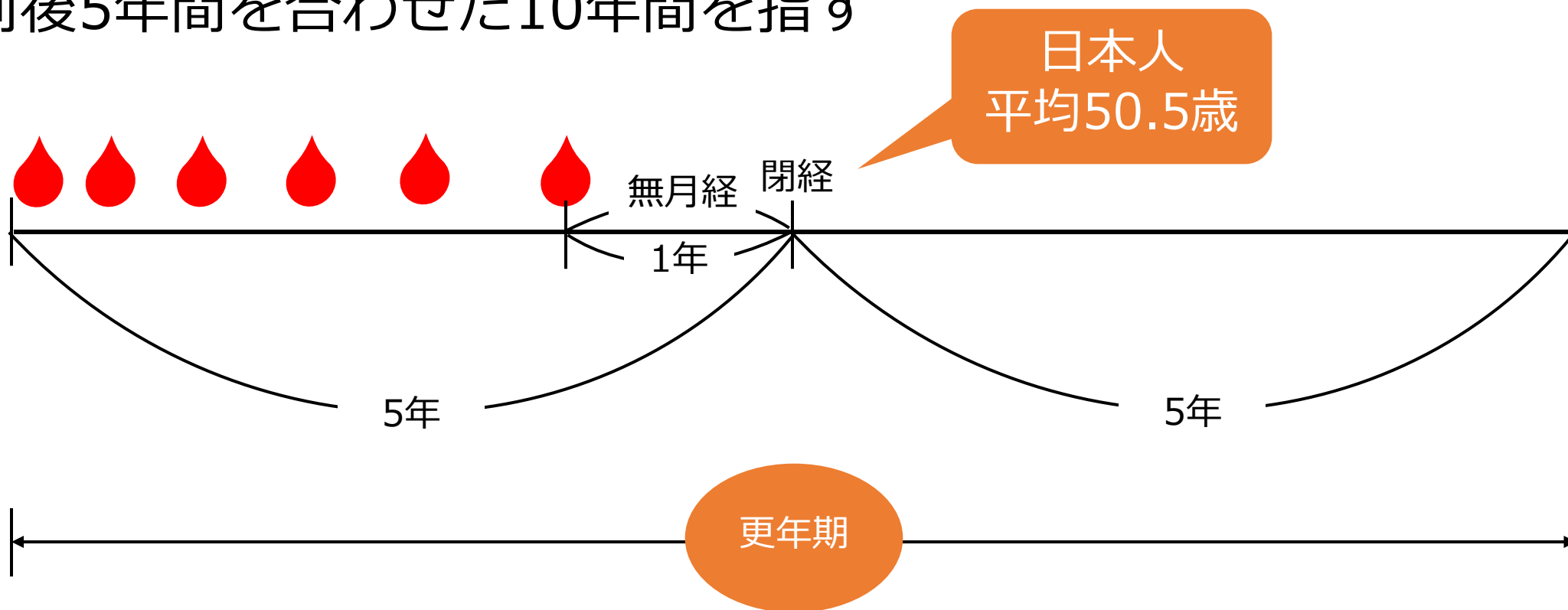
産婦人科 園田あゆみ

目次

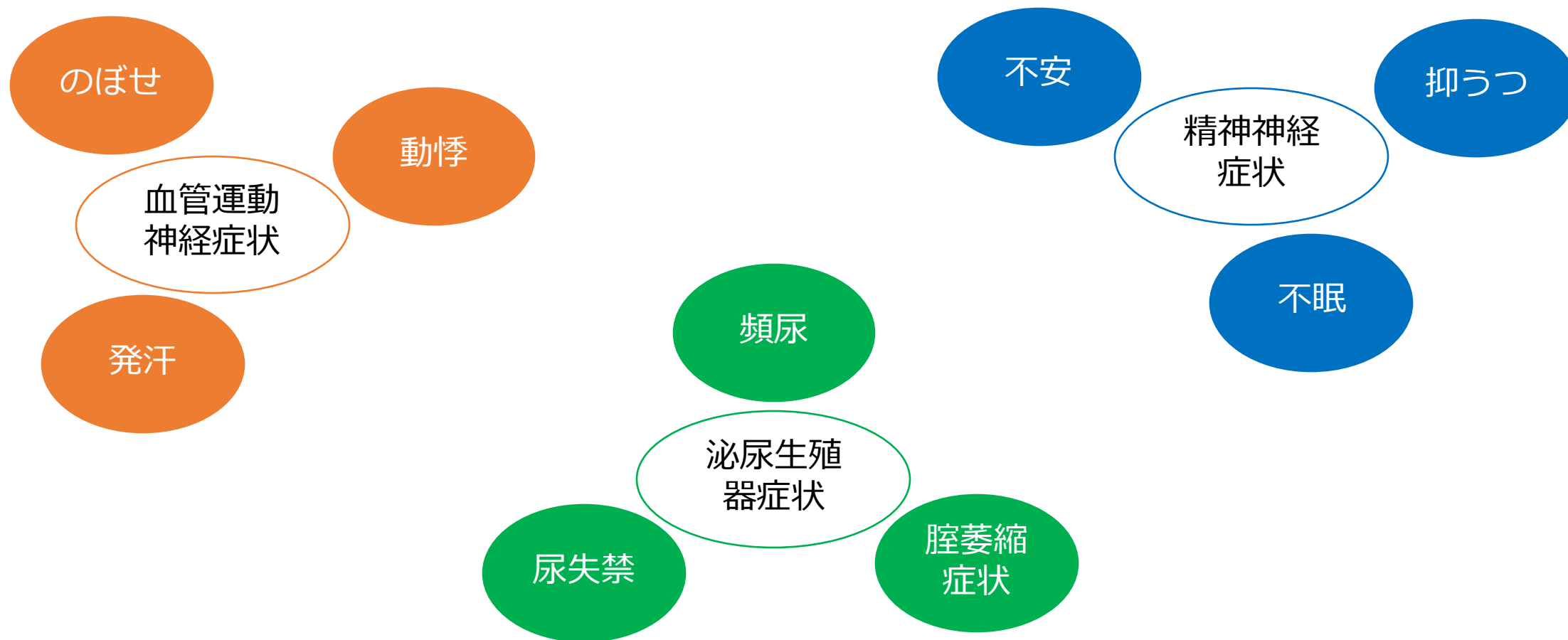
1. 更年期障害とは
2. 診断の進め方
3. 更年期障害の除外診断として考慮すべき疾患
4. 治療について
 - ・ ホルモン補充療法
 - ・ 漢方薬
 - ・ その他

1.更年期障害とは

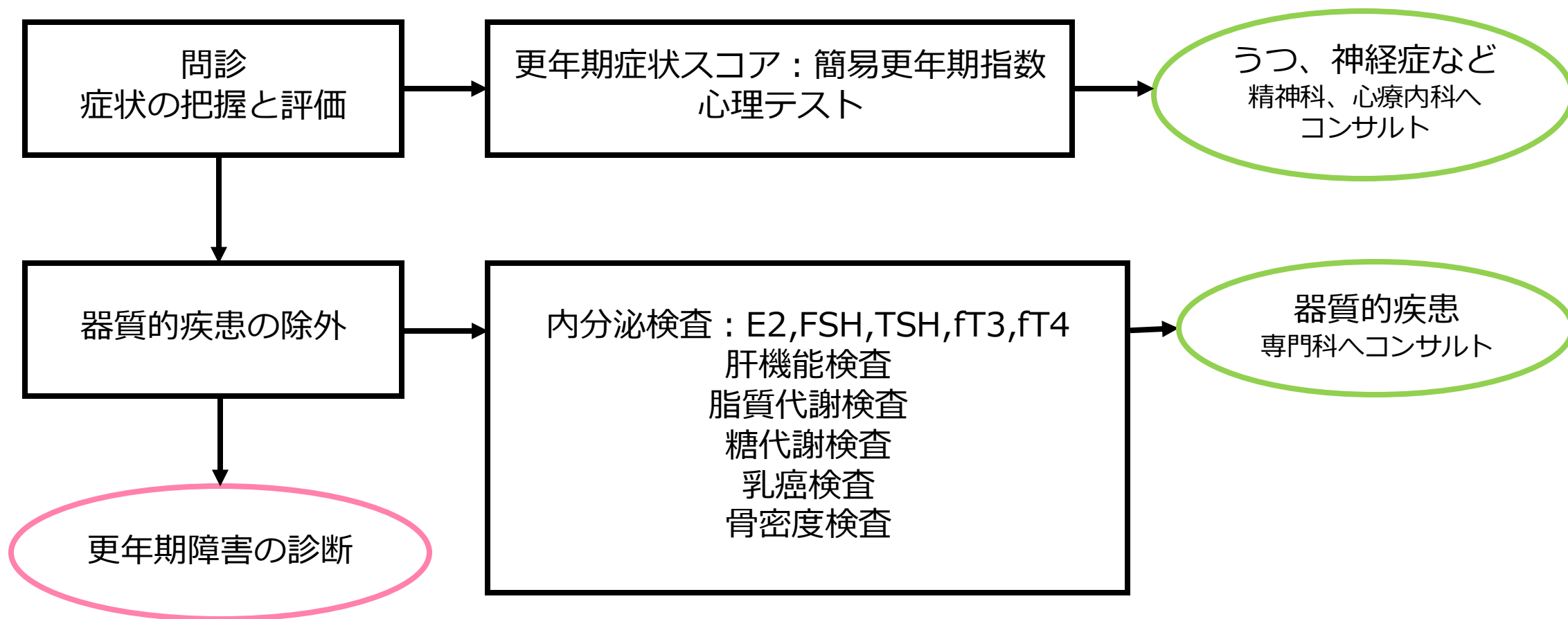
更年期：加齢に伴い卵巣機能が低下し、閉経となる時期の前後5年間を合わせた10年間を指す



1.更年期障害とは ～症状～



2. 診断の進め方



3.更年期障害の除外診断として考慮すべき疾患

☆甲状腺機能異常

月経不順＋発汗、動悸→甲状腺機能亢進症

月経不順＋易疲労感、冷え→甲状腺機能低下症

- ・うつ病
- ・貧血
- ・メニエール病
- ・関節リウマチ



4.治療について

- ホルモン補充療法（HRT）←婦人科コンサルトが必要
- 漢方薬
- その他

4.治療について ～HRTの適応～

- 血管運動神経症状（ホットフラッシュ）に有効
- そのほかの適応：
 - 閉経前に両側卵巣を摘出した場合
 - 早発閉経（40歳未満で卵巣性無月経となったもの）
 - 骨粗鬆症



4.治療について ～HRTの有害事象～

- マイナートラブル：

子宮出血、乳房痛、乳房緊満感、片頭痛



- 増加する可能性のある疾患：

冠動脈疾患、脳卒中、静脈血栓塞栓症、乳がん、卵巣がん

- 慎重投与：

肥満、60歳以上または閉経後10年以上の新規投与、慢性肝疾患

4.治療について ～HRTの処方～

- 子宮あり→エストロゲン＋黄体ホルモンの2剤併用
- 子宮摘出後→エストロゲンのみの単剤



4.治療について ～漢方療法～

女性の3大処方

- 当帰芍薬散：頭重、頭痛、めまい、肩こり、動悸、倦怠感
- 加味逍遙散：冷え性、虚弱体質、不安、抑うつ
- 桂枝茯苓丸：頭痛、めまい、肩こり、冷え性

4.治療について ～その他～

- 血管運動神経症状にはエクオールやサプリメントとして大豆イソフラボンの摂取も勧められる
- 傾聴や生活習慣指導も重要



まとめ

- 更年期障害の症状は多岐に渡る
- 器質的疾患の除外が重要 特に甲状腺疾患
- HRT開始時には乳がん検診受診が大切

参考文献

- 中高年女性のケア・アップデート 日本産婦人科医会
- 産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2023
- ホルモン補充療法ガイドライン 2017年度版